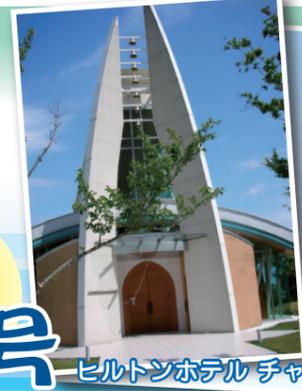


小田原創友クラブ

第64号



ヒルトンホテル チャペル

【発行】小田原市老人クラブ連合会

〒250-0055

小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 小田原創友クラブ教養部

【印刷編集協力】(株)博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



高齢者の力で 小田原を活性化させよう

小田原市老人クラブ連合会
(小田原創友クラブ)

会長 杉崎 勲

明けましておめでとう
ございます。会員の皆様
におかれましては、一家
お揃いで穏やかな新年を
お迎えのこととお慶び申
し上げます。

皆様には日頃から社会
活動を始め、会の諸事業、
行事等にご参加ご協力い
ただき厚く御礼申し上げ
ます。

当クラブも早いもので
本年は、創立50周年を迎
えます。既にこの記念事
業については計画段階に
入っており、会員の皆様
に結束していただき、立
派な記念事業にしたいと
考えております。

老人福祉法の制定は昭
和38年9月であり、これ
を契機に各市町村、都道
府県が一斉に老人クラブ
を立ち上げ現在に至った
わけですが、小田原市で
も法の制定以前から自治
会ごとに老人クラブを立
ち上げ、結成年度が昭和
35年から36年頃、10前後
のクラブがございました。
先人の想いが開花し
たな、という想いで一杯
でございます。創友クラ
ブも近年、行政と連携し
色々な事業に取り組んで

まいりましたが、昨年度
より県の提唱で「健康寿
命の延伸」という大変難
しい問題がございます。
これは平均寿命から健
康寿命を比較しますと男
性で10歳、女性で13歳と
いう大きな差があり、こ
れを短縮しようというこ
とであります。

この問題については、
高齢者であるわれわれが
率先垂範して取り組むべ
き問題と思えます。

この問題を推進するこ
とにより

- ①病弱者の苦痛の軽減
- ②当核家族、親族の心の癒し
- ③介護施設の減少
- ④国、市町村の介護費用の軽減

などの効果が見込まれ、
早急に取り組まなければ
ならない問題でありま
す。

既に創友クラブでは、
この問題に呼応して昨年
度「神奈川県は健康寿命
日本一を目指しておりま
す。皆様、健康には充分
注意して下さい」との横
断幕を作成し、各地区の
体育祭の際、市の健康
ブース付近に掲げ啓発に

努めております。この問
題は全国的にみると、神
奈川県は大分遅れてお
り、行政と連携して早急
に取り組んでまいります
ので、会員皆様のご理解
とご協力を頂いて、強力
に押し進めてまいります
ので、よろしくお願い申
し上げます。

結びに本年が明るく希
望に溢れた年であります
ようお祈り申し上げ、年
頭の挨拶とさせていただきます。



Happy New Year

根府川のヒルトンホテル付近からの景色



新年を迎えて

小田原市長

加藤 憲一

明けましておめでとう
ございます。

小田原市老人クラブ連
合会の皆様方におかれま
しては、健やかに新年を
お迎えのことと心からお
慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、
日ごろから、地域の清掃
活動や友愛活動、健康づ
くりに関する活動など、
様々な活動を精力的に実

施され、地域福祉の推進
に貢献いただいております
ことに厚くお礼申し上
げます。

さて、昨年を振り返っ
てみますと、広島での土
砂災害や御嶽山の噴火、

長野県北部地震など自然
災害の怖さを改めて認識
させられました。また、
身近な地域に目を向けま
すと、振り込め詐欺や窃

盗事件が増加するなど、
多くの方が不安を感じて
おられると思います。

このような状況を打破
し明るい社会を構築して
いくためには、地域社会
の皆様がこれまで以上に
お互いを支え合っていく
必要があると考えており
ます。介護や看護を必要
とする高齢者の方々、障
がいをお持ちの方々など
を社会全体が支え、市民
の皆様が安心して暮らせ
る、お互いがお互いを思
いやる心と仕組みを備え
た「ケアタウン」をより
一層進めてまいります。

また、超高齢社会を迎え
た今、このまちを支えて
こられた高齢者の方々に
は、これまで培ってこら
れた経験や知恵を地域社
会の中で、生かしてい
たいと思っております。

と
りわけ、地域に密着した
健康づくりや生きがいづ
くり、地域ボランティア
など幅広い分野で活動を
されている小田原市老人
クラブ連合会の皆様には、
豊かな地域社会の担
い手として、大きな期待
を寄せているところでご
ざいます。これからも市
政の様々な面でのご協力

を賜りますようお願い申
し上げます。

結びに、小田原市老人
クラブ連合会並びに各老
人クラブの ますますの
ご発展、そして今年一年
が皆様方にとりまして素
晴らしい年でありますよ
う、心から祈念いたしま
す。

充実した毎日を！

小田原市議会

議長

井原 義雄

明けましておめでとう
ございます。

平成27年の輝かしい新
春を迎え、小田原市老人
クラブ連合会の皆様方
におかれましては、希望あ
ふれる新春をお迎えのこ
とと、心よりお喜び申し
上げます。

貴会におかれまして
は、平素から地域の緑化
推進や清掃活動といった

ボランティア活動をはじ
め、寝たきり予防等の健
康づくりの推進など幅広
い事業を自主的に行わ
れ、市政の推進に多大な
御協力を賜り、厚く御
礼申し上げます。

さて、現在、我が国に
おける高齢化率は25%を
超え、実に国民の4人に
1人が高齢者という状況
にあります。「65歳以上

が高齢者」という定義は
国際連合が1956年の
報告書の中で使ったこと
が始まりと言われていま
すが、当時と比較しま
すと、現在の我が国の平均
寿命は15年以上も延びて
います。こうした飛躍的
な変化もさることなが
ら、多くの方が「高齢
者」という言葉にとらわ
れず、お仕事に励まれ、
趣味に打ち込み、ボラン
ティアや地域の活動に積
極的に参加されるなど、
非常にパワフルに活動さ
れるようになりました。

超高齢社会と言われる

現在、高齢者の元気が地
域の元気に繋がると言え
ます。誰もが、いつまで
も、年齢にとらわれるこ
となく、いきいきと生活
していくことができる環
境を整備することは、こ
れからの地域づくりにお
いて重要な目標の一つで
あると考えております。

市議会といたしまして
も、住み慣れた地域で、
誰もが明るく活気に満
ち、健康で生きがい溢れ
る生活を送ることができ
る社会の実現に向けて努

力してまいります。そ
のためには、皆様方のお
力添えが是非とも必要で
ありますので、本年も、
変らぬ御支援・御協力を
お願い申し上げる次第で
あります。

結びに、貴会のみまま
すの御発展と、会員の皆
様方の御健勝をお祈り申
し上げます。



新年のご挨拶

福祉健康部長

山崎 佐俊

明けましておめでとう
ございます。

小田原創友クラブの皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、日頃より福祉行政に対しまして、老人クラブの活動を通じて、格別のご理解とご協力を賜り厚く御

礼申し上げます。

さて、本格的な少子高齢社会に突入し、いまや4人に1人が高齢者の時代であり、本市も高齢化率が26%を超えております。

こうした中、現在「第六期おだわら高齢者福祉介護計画」を策定しておりますが、高齢者の生き

がいつくりや社会参加を支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりを進めていきたいと考えております。

人生経験豊かな高齢者がいらっしやることこそ、豊かなまちが作られていくものと思えます。そうしたことからも、老人クラブの活動は、自らの生きがい高め、健康づくりを進める活動をはじめとした地域を豊かにする活動であり、高齢者自身のネットワークづく

り、社会参加活動に大きな役割を果たしていただいております。また、介護予防と地域支え合いという観点から、その活動及び役割はますます期待されているところです。

このように、シニアの力が溢れる小田原をつくっていくことが本市の将来都市像である「市民の力で未来を拓く希望のまち」の実現に不可欠であると考えています。

次世代にも地域や社会的活動の担い手が引き継がれるよう、大きな期待

を寄せているところで、今後とも市政の様々な面でご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、小田原市老人クラブ連合会並びに各老人クラブのますますのご発展、そして今年一年も皆様方にとりまして素晴らしい年でありまして素晴らう、心から祈念いたします。

すべての人が安心して暮らせるまちづくりをめざして

小田原市社会福祉協議会常務理事

清水 清

新年明けましておめでとう
ございます。

小田原創友クラブの皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から社会福祉協議会運営に種々ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

少子高齢化の加速度的な進行の中、地域社会の

の対応策が求められています。

国は、今年の介護保険制度では今までの三年サイクルだけでなく、十年先を見据えた改正を考慮しております。身近な地域での住民相互の支え合い活動などに医療を加えた「地域包括ケアシステム」の構築・実現を目指す中、ボランティア、NPO、当事者活動など多くの担

い手の協働による工夫にあふれたまちづくりが期待されているところでもあります。

このような中で、私ども社会福祉協議会では、

住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすことが

できる「福祉のまちづくり」を使命として取り組みを進めています。困ったことがあれば、社協で培ったネットワークを活用して、解決できるように結びつけていくこと。そして、できるときに、

できることを、無理せずお手伝いする。」という仕組みをつくっていくことが社協の役割と考えています。

創友クラブの皆様には、社会福祉協議会活動の趣旨をご理解いただき、小田原の福祉高揚に

更なるお力添えをいただければ幸いに存じます。

今年には創友クラブ創立50周年という大きな節目の年である中、先人の方々の熱い思いを受け継ぎながら、永きにわたり活動されてきた小田原創友クラブの会員相互の信頼関係はもとより、統率力、抱擁力、技術力を生かし、今年が素晴らしい飛躍の年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

ご挨拶とさせていただきます。



--	--	--	--



財務担当
浅岡 倬

今年度の役員改選にあたり、前期に引き続き財務担当を応援しました。業務内容としては、一般財務関係についての管理処理と認識し、心得ております。

一方支出については、運営と事業を支出しています。運営に関する支出は単

一般会計の収支についてですが、創友クラブの会計は収入の部は、単位クラブ会費・春秋の研修旅行の旅行代理店による取扱手数料・交付金(県・市・社会福祉協議会)より成り立っ

ています。度度の総会において提出させていただきます。明細については、各年度の総会において提出させていただきます。明細については、各年度の総会において提出させていただきます。明細については、各年度の総会において提出させていただきます。



財務担当
宮本多喜子

明けておめでとございます。前年に引き続き財務として、福祉友愛募金特別会計を担当させていただきました。前年度は何も分らず五里霧中でしたが、皆様のご指導により、なんとか任務を果たせました。ありがとうございます。今回も微力ではございますが、皆様のご協力をいただき、努力していきたいと思

いますので、どうぞよろしくお願いいたします。さて、特別会計の収入は各地区単位クラブからいただく福祉友愛募金と、春秋の研修旅行の時、バスの中でいただく募金です。友愛募金は皆さまのご協力により、今回は200万余円程になりました。前年よりは少なくなりましたが、会員数の減少を考えると仕方な

向かって特に運営費についてですが、一般企業で言う一般管理費にあたるものと思えますが、現在の収入では、かなり不足気味です。したがって、友を創り単位クラブの会員増加と新単位クラブの新設を図る努力を

すると同時に、さらなる各方面のご理解ご協力、とりわけ県・市による運営費用として支出可能な交付金をお願いしなければ、今後非常に厳しい状態が続くものと思われま

お願いはばかりですが、再任のあいさつとさせていただきます。

支出は、主に米寿会員と100歳会員のお祝い金。寝たきり会員のお見舞いです。それに会員活動費として、シルバースポーツ大会の参加賞。作品展に展示された方、市老連大会の演芸に出演された方々に対する記念品代として使われます。

また、募金額の15%は地区老連の活動費として、各地区に還元されます。これからも創友クラブのためにご協力、ご指導の程よろしくお願いいたします。

女性部のつどい 女性部

小田原創友クラブでは、県老連の友愛活動事業の一環として9月25日に「女性部のつどい」を開催しました。

当日は、各地区から女性部員2名ずつ、52名が参加し、市川部長の司会進行で始まりま

の方が長い」と、家庭でも出来る簡単な筋力トレーニングの指導をしていただきました。

次に、市川部長から料理教室や医師との対話集会など、女性部活動の報告として、これからの予定の説明があり、その後、お茶を飲みながら懇親会、各クラブの運営や活動についての情報交換などをし、和やかなうちに解散となりました。

今年度は初めての試みでしたが、各支部の問題や楽しい行事などを話し合い、これからの活動に少しでも活かす事が出来ればと思います



★友★ 創友★ クラブ★ ★旅行★ ★記★

初秋の旅

日光・草津・軽井沢
ゆったりツアー

上府中地区 長寿会
大友 昭夫

ゆったり、のんびりというテーマで比較的近い日光、草津、軽井沢を目的地として10月1日に向かった。関東北部の黄緑の平地、丘陵地を走り、赤城山連峰を車中より眺め、神橋に到着しました。

最初に訪れたのは「日光田母沢御用邸」。大正天皇の御座所、学問所として7000坪の敷地に1360坪の建物。106室の部屋は見事に当時の姿をとどめており、和風建築の貴重な文化財である事に心をうたれました。昼食は栗おこわ御膳を頂き、二荒山神社にて会員の健康長寿の特別祈禱を行った。また、「縁結び笹」にちなんだ結び札があり、それぞれの思いを書いて、仕事や人の良縁を祈りました。宿には早めの到着で、大浴場から鬼怒川の渓谷を楽しめたのは良かったです。

秋季研修旅行 温泉巡りの旅

片浦地区 高砂会
宮本多喜子

翌日は、いろは坂から華厳の滝へ向かい、その壮観さに一同心を奪われた。中禅寺湖・竜頭の滝・戦場ヶ原からやや紅葉のみられた金精峠を車窓から見て、草津温泉に着いた。温泉街をゆっくり散策、宿の温泉を心行くまで堪能。宴会後の草津湯もみショー・太鼓ショーも旅情を高めました。3日目は鎌原観音へ。天明の浅間山噴火の際、観音堂に避難した人々だけが助かったそうである。最後に押した溶岩流が「押し出し」の奇岩として残っており、最近の火山事故と照らし合わせて考えさせられました。浅間高原を通過し、白糸の滝を見学し、軽井沢で散策をし、充分楽しみ帰路に就きました。今回はゆとりある行程で無理なく進める事ができたと思う。3日間の後半は天候にも恵まれ、自然とふれあう事ができ楽しく研修を終える事ができました。

初日は曇り空のもと、まず日光を目指し、お昼前に田母沢御用邸記念公園に着き見学しました。明治時代に建てられ、現在も当時のままの様子で、お風呂場は今では考えられない板張りでした。庭もきれいに整備され、気持ちよく時間いっぱい散策しました。午後は二荒山神社に参拝し、健康と長寿の祈願を受け、創友クラブを代表し玉串を奉納させていただきました。二荒山の二荒をニコウと読んで、日光の字に当てたそうです。主神は大国主命で家内安全から縁結びまで何でも叶えてくれると聞き、3日間の旅行の安全を願いました。

鬼怒川温泉のホテル三日月では宴会の後に前庭で噴水ショーがあり、きれいな色と高く上がる水に歓声が上がっていました。2日目は華厳の滝の見学ですが、修学旅行の時期と重なってしまい、子どもたちがたくさん来ていました。私も小学校の修学旅行で日光へ行ったので、ふと懐かしく思いました。

中禅寺湖から戦場ヶ原を通って群馬県に行く金精峠のあたりは、高地で山々も紅葉し、緑の中に紅葉が混ざり、とてもきれいでした。草津温泉には3時半ころ着き、シャトルバスで湯畑を見に行きました。湯畑が何か知りませんでした。100度近いお湯をここで冷まし、配るそうで、お湯を通す四角い箱が並んでいました。西の河原迄歩くと硫黄の臭いがし、川の水が緑色に変色していました。そして夜は湯もみショーと和太鼓演奏を楽しみました。

次に旧軽井沢銀座を自由散策。両側におしゃれなお店が並び、若い人たちも多く、これが軽井沢なんだなと、わかったような気がしました。

無事に事故も無く、天気にも恵まれゆつくり楽しめた旅行でした。

最終日は、鎌原観音へ向かいました。想像していたより小さなお堂で、ここで90人も人々が助かったと聞き驚きました。ちょうど御獄山の噴火があった後なので、山小屋に避難した人々も同じ気持ちだったと思うと、200年以上も前の事が身近に感じました。



体育部長

小宮 清隆

10月28日(火)、爽やかな秋晴れのもと、小田原創友クラブの三大事業の一つであります、シルバースポーツ大会が、酒匂川スポーツ広場に、小田原市長をはじめ多数のご来賓をお迎えして盛大に開催されました。

開会式は北村副会長の開会のごとばで始まり、国旗、市旗掲揚、君が代斉唱のあと、前羽地区優勝杯返還、杉崎大会会長

大会結果

優勝	十字
準優勝	曾我
3位	片浦
4位	前羽
5位	桜井
6位	山王網一色
7位	緑
8位	下府中
9位	豊川
10位	富士見
11位	下曾我
12位	上府中
13位	新玉
14位	久野
15位	万年
16位	大窪
17位	酒匂
18位	富水
19位	足柄
20位	下中
21位	幸
22位	早川
23位	二川
24位	国府津
25位	芦子
26位	東富水

第4回 シルバースポーツ大会



挨拶、来賓祝辞、選手宣誓、審判長注意事項のあと準備体操後、競技が開始されました。
今大会では、一部競技内容を変更致しました、団体種目でドリブルリレー、ボール送りリレー、水の祭典で、前回大会までは15メートル先の椅子を回ってくる拒離を20メートルに変更、またグラウンドゴルフリレーでは15メートルで引き継ぎをしていましたが、この距離を30メートルに変更致しました。

結果は好評でしたので次回大会も継続してまいりたいと思っております。
また、次回大会では応援前を通過するリレー競技も考えていきたいと思っております。参加された会員皆さま、健康で楽しい秋の1日になりましたでしょうか。

第46回 シルバー作品展



厚生部副部長 本間 豊

10月18日・19日の2日間で開催。今回は330点あまりの力作が展示され、来場された方々からは感嘆の声が上がっていました。特に最高齢者、女性(94歳)男性(90歳)の方の作品には多くの方が関心を持たれたようでした。

今回はグループでの制作が多く、腕を競い合っていて素晴らしい作品が次々と生まれたようで、年々レベルが上がっているように感じられました。

19日には毎年恒例の餅つきが行われ、ついた餅や焼きそばが配られ、長い行列ができていました。また、赤い羽根共同募金には多くの方にご協力いただきました。

当日、お手伝いいただいた方々、そして看護学校の生徒さんに感謝いたします。



--	--	--	--

市老連主要行事報告

(平成 26 年 4 月～平成 26 年 9 月分)

月	日	事業 (会議) 名	内 容	場 所	
4	1～2	春季研修旅行	第 1 班 富水・二川・豊川・下曾我・大窪・山王網一色・酒匂	「日本海の幸と絶景佐渡」参加者 291 名	
	3～5		第 2 班 曾我・下府中・富士見		
	7～9		第 3 班 上府中・芦子・緑・幸・久野		
	9～11		第 4 班 片浦・下中・十字・桜井・万年・国府津・東富水・新玉		
	14	財務部会	・平成 25 年度決算について	おだわら総合医療福祉会館	
	15	常任理事会	・市老連 50 周年記念誌の発行について ・各部事業計画について 他		
	17	西湘ブロック連絡協議会	・事業計画について ・県老連の新規委託事業について ・情報交換		
	18	財務部会	・平成 26 年度予算について		
	22	常任理事会 監査 理事会	・平成 25 年度事業報告及び各会計収入支出決算報告について ・監査 ・総会について 他		
	28	厚生部会	・春季研修旅行のアンケート結果について、および、秋季研修旅行の検討		
30	女性部会	・女性部研修会 レシピ検討会	生涯学習センターけやき		
5	10	慰霊塔清掃	豊川・上府中・山王網一色		市慰霊塔
	14	常任理事会 理事会	・平成 26 年度事業計画及び各会計収入支出予算案について ・総会について ・西湘ブロック交流グラウンドゴルフ大会について ・老人大学について 他		おだわら総合医療福祉会館
	15	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	・「食で生き生き！栄養教室」Bブロック 十字・大窪・早川・片浦 地区対象		早川公民館
	20	総務部会	・総会資料作成	おだわら総合医療福祉会館	
	22	総 会	・平成 24 年度事業報告及び各会計収入支出決算報告について 〔監査報告〕 ・平成 25 年度事業計画及び各会計収入支出予算案について		
6	2	厚生部会	・秋季研修旅行検討会	酒匂川スポーツ広場	
	3	西湘ブロック交流 グラウンドゴルフ大会	・準備		
	4		・大会開催		
	6	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き！栄養教室」(Dブロック 富水・東富水・桜井地区対象)	尊徳記念館	
	9	厚生部会	・秋季研修旅行検討会	おだわら総合医療福祉会館	
	10	慰霊塔清掃	万年・片浦・芦子	市慰霊塔	
	11	常任理事会 理事会	・小田原市ボランティア活動補償制度について ・ゆめクラブ活性化推進事業募金について ・「市町村老連実態調査」における会員年齢構成調査について ・友愛チームリーダー研修会について 他	おだわら総合医療福祉会館	
	19	友愛チーム リーダー研修会	・基調講演「地域包括支援センターについて」 ・事例発表「高齢者見守り隊」について ・意見交換会 他	尊徳記念館	
	26	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き！栄養教室」(Dブロック 富水・東富水・桜井地区対象)		
	7	9	常任理事会 理事会	・西湘ブロック「高齢者訪問支援活動推進員研修会」について ・健康づくり事業「体力測定(健康づくり教室)」について ・秋季研修旅行について ・シルバー作品展について ・米寿(88歳)会員の調査および贈呈金の確認について 他	おだわら総合医療福祉会館
常任理事会 厚生部会				・秋季研修旅行見積検討会	
10		慰霊塔清掃	桜井・足柄・幸	市慰霊塔	

月	日	事業 (会議) 名	内 容	場 所
	24	教養部会	・「市老連だより第 63 号」について	おだわら総合医療福祉会館
	30	老人大学 第 1 回 女性部と医師との 対話集会 第 1 回	・開講式 ・講話「高血圧予防」 ～小田原市の現状と血圧測定の重要性について～ 講師 小島クリニック 院長 小島 時昭 先生	
8	5	常任理事会 理事会	・共同募金運動(街頭募金)への協力について ・秋季研修旅行について ・生きがいふれあいフェスティバルについて ・第 41 回シルバースポーツ大会について ・第 49 回小田原市老人クラブ連合大会について ・「女性部のつどい」について ・西湘ブロック「ゆめクラブ大学」について ・西湘ブロック「単位クラブリーダー・新任会長等研修会」について ・福祉友愛募金について 他	おだわら総合医療福祉会館
			7	
	9	慰霊塔清掃	大窪・国府津	市慰霊塔
	27	西湘ブロック 「高齢者訪問支 援活動推進員研 修会」	・講演「人と人のつながりと心地よいコミュニケーション」 講師 (株)ウェルネスライフサポート 研究所代表 加倉井 さおり先生 ・情報交換	真鶴町民センター
	28	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き！栄養教室」(E・Fブロック 国府津・酒匂・富士見・下府中 地区対象)	川東タウンセンターマロニエ
9	1	体力測定(健康 づくり教室) 〔女性会員対象〕	・体力測定 ・講話「高齢者のうつ病」 ～生き活きと毎日を過ごすための予防と対策～ 講師 国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 看護学科教授 吉村 恵美子 先生	国際医療福祉大学
	2	体力測定(健康 づくり教室) 〔男性会員対象〕		
	4	常任理事会 理事会	・「社会奉仕の日」ごみの収集について ・秋季研修旅行について ・老人クラブ加入促進月間について ・第 41 回シルバースポーツ大会について 他	生涯学習センターけやき
	10	慰霊塔清掃	早川・下府中・緑・富士見	市慰霊塔
		老人大学 第 2 回 女性部と医師との 対話集会 第 2 回	・講話「お口の健康づくり」 ～健康なお口で幸せな生活～ 講師 すだ歯科クリニック 院長 須田寛紀 先生	おだわら総合医療福祉会館
	16	厚生部会	秋季研修旅行しおりづくり	
	17	西湘ブロック 「単位クラブ リーダー・新任 会長等研修会」	・講話「高齢者の健康促進を目的としたノルディック・ウォーク」 講師 東京都ノルディック・ウォーク連盟	湯河原町民体育館
	18	常任理事会 理事会	・第 49 回小田原市老人クラブ連合大会について ・生きがいふれあいフェスティバルについて ・第 41 回シルバースポーツ大会について ・県老連理事長表彰審査結果について 他	おだわら総合医療福祉会館
		表彰審査委員会	・第 49 回小田原市老人クラブ連合大会における功労者・団体の表彰について	
		秋季研修旅行 責任者会議	・秋季研修旅行 説明	
	25	友愛活動等支援事業 「女性部のつどい」	・講話「不健康寿命はなぜ女性の方が長いのか」 ～原因を知って予防しよう～ ・実技・ストレッチ 講師 神奈川県老人クラブ連合会 活動推進員 松田 冴子 氏 ・女性部の活動について 女性部部長 市川 初江 氏 ・情報交換会	

単位クラブ活動報告

山王網一色地区

若葉クラブ

会長 山口 繁

●会員数

男性 34名
女性 44名
合計 78名

●クラブ結成時期

昭和38年5月27日

を行う。7月と11月に自治

会役員と一緒に東町児童遊園地の植木の剪定作業と清掃作業を行う。

★情報伝達と意思疎通

月例懇談会の開催

毎月1回会員への情報伝達と会員相互の意思疎通と気分転換を目的にお茶飲み会や、童謡や昔の歌を皆で合唱する。

誕生会の開催

3か月毎に77歳・85歳・90歳の方の誕生日に祝い金を贈りお祝いをする。3か月の間の会員の誕生者に記念品を贈りお祝いをする。

●クラブ名の由来

いつまでも若葉のように新鮮で、はつらつとした老人の集いを目指す。

●クラブの活動

★社会奉仕作業

毎月1回山王神社境内と白山児童遊園地の清掃作業



山王網一色地区

六輪会

会長 湯川 和昭

●会員数

男性 27名
女性 39名
合計 66名

●クラブ結成時期

昭和39年11月18日

●クラブ名の由来

地域の長老6名が相談して結成した。その時の人数をとって、「六輪会」と命名した。

●クラブの活動

★クラブ専用の野菜畑を所有し会員で季節の野菜を栽培して会員宅に分配している。(玉ねぎ・さつまい)

★山王原公園の清掃活動

市の管理する広い公園で針葉樹が主体の植木が多い。月1回会員で掃除を行っているが、雨や風の後の清掃は落ち葉が多くこみ袋15〜20個の収集を行っている。

★クラウンドゴルフによる健康作りと、地域の仲間作りを行っている。

平成9年に15名で発足した「友の会」の会員も現在は40名となり、市の大会では毎年優勝するクラブとなった。メンバーに90歳以上の会員も3名在籍し健康で楽しい活動を行っている。

山王網一色地区

一寿会

会長 内藤 秀男

●会員数

男性 16名
女性 29名
合計 45名

●クラブ結成時期

昭和38年7月21日

●クラブ名の由来

地名の「網一色より」の字をとり、会員の健康と幸せを願って「一寿会」とした。健康第一、笑顔も一番で楽しいクラブ活動を目指している。

●クラブの活動

★定例会の開催・毎月1回神社の掃除と茶話会を開催し、連絡事項のお知らせ、健康に関する話などを行う。また参加の会員で童謡や歌謡曲を歌い和やかな気分にする。

★毎月1回区内道路の清掃とゴミ収集を行う。

★東町クラウンドゴルフメンバーによる練習に毎週2回参加し、大会には会員全員で参加する。

●今後の目標

★会員の高齢化で会員数が減少方向にある。新規会員の入会促進を行う。
★役員改選をスムーズに行うため、次期役員候補の育成を行う。

緑地区

城山むつみ会

会長 大森 一学

●会員数

男性 17名
女性 24名
合計 41名

●クラブ結成時期

昭和44年7月3日



1 環境

小田原市の市街地にあり小田原駅西口に近く、小田原城を望む。市街地にありながら、緑豊かで閑静な住宅地である。

2 クラブについて

創立は、昭和44年。長い時間を過ごし、少々時間的にゆとりのできた仲間が集い仲良くなり、研鑽を積みながら活動する会を組織し、「城山むつみ会」と称した。

--	--	--

3 活動

①むつみ会主催

定期総会・班長会(役員会) 定例会(毎月) 誕生会(3か月に1回) 月2回の地域清掃・季節の花植え・毎月むつみ会たよりの発行・三の丸小学校児童下校時の安全見守り(週1回)・介護老人施設の訪問、介護用品を作り届ける・講座を必要に合わせ開講(交通安全・振り込め詐欺防止など)

②地域活動への参加と交流

自治会活動への参加。防災訓練・祭典・健康講座・健民祭・納涼祭・作品展など

③緑地区行事に参加

入湯会(1泊)日帰り旅行・初詣・筋力トレーニング・清掃など

4これから

高齢者が仲良く、助け合って、豊かに過ごせるように仲間を募り、活動の充実を図る。みんなで一緒に楽しむことを計画実践する



富水地区

西北長寿会

会長 熊坂 太郎

●会員数

男性 28名

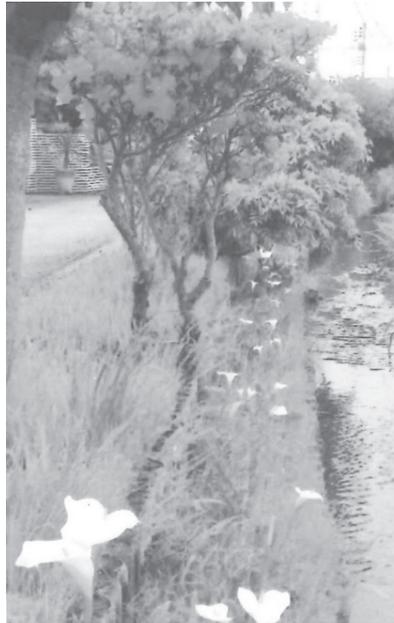
女性 66名

合計 94名

●クラブ結成時期

昭和44年1月30日

自然の豊かな富水地区8単位クラブ会員数469名会員一同の結束と地域との交流を深め、各単位クラブへの入会をお願いしております。富水地区散歩道のご紹介をさせていただきます。



大雄山線飯田岡駅前を起点とし、旧県道に富士山への講碑と小田原堤灯作りの山崎屋さんがあります。また県立小田原諏訪の原公園が整備され、憩いの場になり休日には多くの方が訪れております。また小田急線富水駅前の踏み切りを渡り西北へ向かって仙了川の橋上より四季を通して霊峰富士山を真向かいに見て仙了川の水路による小川「田園水路」、柳新田地区の皆様による「めだか公園」ができて憩いの「セラギの小道」となり四季の花が咲き私達を楽しませてくれます。これからも素晴らしい郷土の憩いの場を大切に後世に引き継いでまいりたいと思っております。

酒匂地区

シルバー富士

会長 小林 久之

●会員数

男性 25名

女性 26名

合計 51名

●クラブ結成時期

平成23年4月1日

当会の設立は、平成23年の4月です。創友クラブの中では、歴史の浅い団体です。

市の東側地域(財務省印刷局工場の西側一帯)で酒匂一丁目・二丁目の区域になります。比較的規模の小さな組織です。

以前この地区に、ながいき会と言う老人クラブが存在してましたが、役員の高齢化、後継者不足、会員数の激減など存続が不可能状態になり解散せざるを得ませんでした。この状況を、危惧した自治会が、再生に向け、鋭意努力を重ね、新制老人クラブの結成に奔走し、シルバー富士が誕生したものです。

次に今年度総会後の、活動を報告します。6月茶話会を開催(ビンコゲーム・大正琴の演奏に合わせ、参加者全員で童謡などを合唱、手品を鑑賞)楽しい歓談の時間を



過す。7月高齢者の健康管理(熱中症・認知症の一般的な知識)について、市福祉健康づくり課の講師を招き、講和会を開催、終了後はアトラクションに切り替え、民謡、津軽三味線を聴き、紙芝居による小田原地方の民話で楽しみました。10月、市生涯学習出前講座を開催、地域包括支援センターの業務と私達との関わりについて学びました。地域の公的機関として、生活上の悩みごとの相談受付窓口です。どんな相談にも応じてくれるよう、ネットワークが構築されている状況を確認することができた。続いて介護保険制度の説明を聴講しました。超高齢化社会で、最も大切に身近

な制度であると実感しました。自分自身の命綱として、要支援、要介護認定、介護保険サービスの利用など最低限の知識を持つ必要性を認識しました。講師の丁寧な説明に感謝です。

次に友愛活動に触れまます。7月民生委員を長とする、きずなチームが発足、これを機に民生と歩調を合わせ、友愛活動を展開していきます。友愛チームがきずなチームと車の両輪として機能していくことを期待いたします。



会員のひろば

結婚

富水地区
飯田岡第一寿会
下沢 芳郎

結婚して60年になりました。長い道のりでいろいろな出来事がありました。2人とも健康に、ここまでこられたのはなにかと運に恵まれていたと思っています。

結婚したのは昭和30年、30歳のときです。20代は社交ダンスにのめりこんでいて女友だちはかなりいたわけですが、いざ結婚となるとやはり帯に短かしでした。

あるとき知人から紹介されて会った女性が今の妻です。驚きましたが、おたがいに意気投合、即決でした。

その頃の結婚は、お見合いによるもの多くて親戚や近所の世話好きのおばさんが適齢期の男や女を探して縁談を持ち込んできたものでした。縁談といえばこんなことがありました。

私に農家の娘さんとの縁談が持ち込まれましたが、見合いか写真交換もないまま、先方から断られました。理由は、家のない人に娘はやれま

せんとのことでした。

当時両親や姉や弟たちと同居の借家住まいだった私は、若かったせいか「持ち家」ということに関心がなかったのだ、そのときはそんなものかと思っていました。ちなみに今の妻は社宅住まいでした。

結婚はしたものの、狭い借家住まい、家族とのいざこざなどがあって2人して家を出てアパート暮らしをしました。

しかし、アパートの家賃をローンの返済に当てたほうが得だと考え、勤務先や金融機関から資金を借りてマイホームを建てることができました。

縁談で断られた「借家」でなく「持ち家」を手に入れたのでした。

40年以上のサラリーマン生活の中で、15年の横浜までの遠距離通勤や単身赴任などで妻には苦労かけました。2人の子どもを育ててくれ、私を支えてくれたことをありがたく思っています。

2人とも先の短い人生ですが、生きているかぎり助け合い、いたわりあっていきたいと思っています。



シルバー人材センター会員募集!!

シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者の就業システムです。会員にふさわしい仕事を、企業、家庭、公共団体などから引き受け、会員の従事した仕事に応じて報酬を支払います。

会員になれるのは、おおむね60歳以上で働く意欲のある健康な方です。

★連絡先

生きがいふれあいセンターいそしぎ内
☎0465(49)2333【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索

平成27年度 小田原創友クラブ 春季研修旅行

徳川家康誕生の地 岡崎城址 千本の桜見物

春爛漫!花めぐり 伊勢湾フェリーで行く伊勢神宮 参拝の旅

お一人さま
38,500円(税込)

- 宿泊代(2泊)・食事代(夕2・朝2・昼3・夕弁1)
- 記念写真1枚、旅行傷害保険、消費税を含みます。

行 程		昼	夕
1日目	小田原市内各所→駿河湾沼津SA(集結)→浜松SA(休憩)→豊川稲荷・妙厳寺(参拝)→蒲郡オレンジパーク(昼食)→岡崎城(見学・桜見物)→まるや八丁味噌(見学)→三谷温泉(泊)	8:20~8:40	10:00~10:15
2日目	宿→道の駅 田原めっくんはうす(休憩)→伊良湖港(伊勢湾フェリー)→鳥羽港→夫婦岩・徒歩・二見プラザ(昼食)→伊勢神宮外宮(参拝)→伊勢志摩真珠館(買物)→鳥羽(泊)	9:20~9:35	11:45着/11:55
3日目	宿→伊勢神宮内宮(参拝)おかげ横丁(散策)→伊勢志摩みやげセンター王将(買物)→名阪関ドライブイン(昼食)→刈谷PA(休憩)→浜松SA(休憩)→駿河湾沼津SA(休憩)→小田原各所	9:00~10:40	10:50~11:20

※道路状況及び天候の不良により一部行程が変更する場合もございます。

地区	日程
1班 山王網一色・酒匂・富水・大窪	4/1(水)~4/3(金)
2班 久野・幸・下中・二川・十字	4/2(木)~4/4(土)
4班 曾我・上府中・新玉・早川・万年・下曾我・緑	4/6(月)~4/8(水)
5班 桜井・前羽・国府津・富士見・東富水・足柄・芦子	4/7(火)~4/9(木)
6班 片浦・下府中・豊川	4/8(水)~4/10(金)



●宿泊先

- 1泊目: 三谷温泉 松風園
Tel.0533-68-6611
- 2泊目: 鳥羽シーサイドホテル
Tel.0599-25-5151

●旅行企画・実施

伊豆箱根バス(株) 静岡県知事登録旅行業第2-538号
伊豆箱根トラベル 神奈川旅行センター
Tel.0465-23-0266
小田原市栄町1-1-5 土・日・祝日 定休
営業時間/9:00~18:00

- お申し込み方法: 最寄のクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい
- お問い合わせ先: 小田原創友クラブ事務局
Tel.0465-23-0266
※もしくは最寄のクラブ会長様へお問い合わせ下さい

会員文芸

俳句

片浦地区 相生クラブ

森本シヅ子

背中いっぱい蝶々結びや七五三

沢庵大樽ふたつ漬けし頃

酒匂地区 寿楽会

鈴木 定子

ぬげがらをひとつ残して蟬しぐれ

秋涼し昼寝の猫の穏やかさ

十字地区 銀杏の会

生田目茂子

春嵐骨だけ残し傘がゆく

愛猫の好んだ椅子に晩夏光

桜井地区 曾比和楽会

宮崎 悦子

真野御陵遠流の島の桜東風

十二個のアルミ弁当蜜柑山

富水地区 西北長寿会

熊坂 千枝

恙なく八十路の夫婦初詣で

恙なく八十路の友の賀状かな

63号訂正

前号掲載の後藤さまのお名前に誤りがありました。

申し訳ございません。

(誤)・後藤 房江さま

(正)・後藤 芳江さま

川柳

片浦地区 相生クラブ

森本シヅ子

おいくつと聞かれるたびに指を折る

十字地区 銀杏の会

生田目茂子

覚えても忘れる速き特技なり

安売りに不細工野菜購入す

前羽地区 町屋長楽会

大井川悦雄

汗と砂男を磨く大相撲

復活宣言一円玉が光ってる

秋の宵虫のハーモニーヒレの酒

短歌

片浦地区 相生クラブ

森本シヅ子

今日ありて明日がわからぬ命とは

御獄山の惨事身に染む

曾孫が園児となりて字をおぼえ

おばあちゃんにと絵がみ届く

富水地区 飯田岡第一寿会

岡田チヨ子

この秋は一つの柿も生らさずして

十三夜の柿を買いて戻りぬ

一盛りのアジを買おうか止めようか

鮮度の良さに立ち去り難し

久野地区 宮本あゆみクラブ

湯川喜代子

知らぬ子に抱っこせがまれうれしくて

久し振りよと強くだきしめ

会員加入増強運動期間中です



平成26年から5カ年間で県老連では20,000人の目標で実施致します。

小田原創友クラブの推進項目として

- 1 未加入者宅にパンフレットの投函。
- 1 会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- 1 未加入自治会の創友クラブの結成を計る。

単位クラブ2名以上の増員が最低目標ですので皆さま全会員で努力しましょう。



原稿募集

「おだわら市老連だより」65号(平成27年夏号)に原稿をお寄せください。単位老人クラブ活動記、日々の雑感(随想)、旅行記、俳句、短歌、川柳など何でも結構です。

*紙面の都合上、長文の場合は分量をカットもしくは次号まわしとさせていただきます。

*趣旨を変更せず添削する場合があります。二重投稿、発表済みのものは受け付けません。また原稿、作品、写真等は返却しません。

*活動記などは写真があれば添付してください。

あとがき

「小田原創友クラブ64号」発行までには市長をはじめ多くの皆さまの、温かいご支援とご協力のたまものと、深く感謝する次第です。

各単位クラブ活動記録による社会奉仕は、環境美化から学童見守り活動など全てが「小田原を明るくする」一助になっていると思います。

65号のテーマを構想するにあたり、教養部一同充実した紙面を目標に進めて参ります。今後とも皆さまのお力添えをよろしくお願ひ申し上げます。

教養部

*必ず氏名、地区名、クラブ名、電話番号を明記してください。(不明な点をお聞きする場合があります。)

*原稿をパソコン等で作成された方はデータをお送り下さい。ご協力お願いします。

発行 平成27年8月末
締切日 平成27年5月15日

◆宛先
〒250-0055
小田原市久野115-2
おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会
「小田原創友クラブ」教養部まで。

開催日：11 月 11 日(火)
会 場：小田原市民会館

小田原市 老人クラブ連合会大会



スポンサー各位へ御礼
このたびは小田原市老人クラブ連合会広報紙「おだわら市老連だより」に広告のご掲載を賜わり、誠にありがとうございました。
本紙は来たる超高齢社会に向かって、会員のいきがい、健康、教養を高めるとともに、会員相互の親睦交流を願って発行するものであります。以上の趣旨をご理解いただき、何卒末永きご厚誼、ご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。 小田原市老人クラブ連合会
